

## はつとん Weekly 社会①

本校の社会科の授業でも、「教科書を読んで、板書をノートに写す」という授業スタイルから、電子黒板を利用した「視覚的な授業」に移行しています。

電子黒板は文字を書くだけでなく、写真・地図・グラフ・映像などが投影でき、文書だけでは伝わらないことがイメージしやすくなります。イメージができれば理解もしやすくなり、結果的に知識の定着につながります。

**「イメージ」し、「理解」して、「覚える」**

これが、はつとんの社会科教育となっています。

そこで、今回は中学3年生の授業の様子を紹介します。担当は、平井先生です。



この日の授業内容は、明治時代の文化と第一次世界大戦の始まりについてでした。



明治時代の国民の就学率について、グラフを示しながら解説をしています。グラフを見ながら説明を聞くことで、どのようにして明治の国民の就学率が上がっていったのかが理解しやすくなります。



続いて、第一次世界大戦の始まりについて説明しています。地図や絵などを見せることで、「どこで」や「なぜ」がイメージしやすくなり、理解が深まります。



生徒のノート（資料集）です。しっかり書き込みができており、あとで復習する時に、わかりやすいものになっています。

「イメージ」して、「理解」して、「覚える」。あと一つ、社会の学習に大切なのは「復習」です。様々なことが書き込まれたノートやプリントは、復習する時にとても役立ちます。ノートやプリントを見た時に、「あの時、先生があんなこと言っていたな」「あれはこうだったな」と思い出すことができるからです。

来週の金曜日から中間考査が始まります。生徒たちがどれだけ理解してくれているか、今からとても楽しみです。